

男女共同参画推進課 市民の声聞かずに廃止？

橋爪団長が総括質疑(3月定例議会)



検証・整理したい、⑥実施に当たっては、広報紙やホームページなどで市民に公表したい、⑦国が実施した「事業仕分け」のような手法は、効用と弊害の指摘もあり慎重に判断したい、⑧総務管理部及び総合政策部が主体の横断的な体制で推進する、と答えました。

申請はもっと簡単に

新年度予算の目玉のひとつとして提案された地域活動支援事業について、橋爪議員は、「この事業を通じて、どのような地域づくりを目指すのか」「同事業の中で、地域自治区ごとに地域活動支援事業の『採択方針』を設定する理由は何か」「申請はもっと簡単にできないか」をききました。

採択基準が必要と考える」と答えました。

行政組織改編は

市民の声を聞くべし

上越市は男女共同参画推進都市宣言を行い、その基本条例を持っていて、先進的な取り組みをしていると評価されていますが、行政組織改編では、男女共同参画推進課が廃止されます。橋爪議員はその理由、提案にあたって市民の声を聞いたのかどうかをただしました。また、総合事務所は平成23年度からの見直しに向けて機能や役割分担などの検討を進めるとしています。が、検討することとした理由は何かを問いました。

これに対して市長は、市民の声は聴いていない、男女共同参画推進事業は、組織の機動力を高めるために、自立と共生のまちづくりを推進する「自治・市民環境部」に担わせることにした、と答えました。また、合併メリットの活用と地域振興・市全体の活性化が重要であるため、総合事務所はその在り方や機能、組織などについて、検討しなければならぬと考える、と答えました。

臨時会直後に

専決処分とは何事か

市長は先月19日、5億円の除雪費を追加する一般会計

補正予算を専決処分(議会にかけず、市長の単独判断で決めること)しましたが、この日は議員全員が集まった日です。橋爪議員は、「専決処分は、特別の理由がないとできない。2月上旬のどか雪で除雪費が足りなくなることは予測がつかないはずだ。議会を開くいとまがなかったとは言いがたい。議会軽視だ」と指摘しました。

これに対して村山市長は、「2月に入り3日間で再び1mを超える降雪があった。全域的な圧雪の除去や拡幅除雪が必要な事態となり、除雪車の稼働時間の把握や必要経費の積算に時間を要したことから、見込んだ補正額を大きく上回ることを臨時会当日の午前9時に知った。このため、議会にお諮りする時間的余裕がなく、専決処分で対応した」と答えました。



事業総ざらいで

必要性等を検証

橋爪議員は、第5次総合計画の財政フレームとの関係と中期財政見通しの策定について問い、併せて「事務事業の総ざらいを実施する」としてある点について、その対象や実施時期、実施体制などについて質問しました。

これに対して村山市長は、①基本的に第5次総合計画の見直しフレームを基本とした、②国の予算編成が遅れたため、終盤で規模を決定する異例の作業となった、③予算規模増大の主因はこども手当創設などのよるもので、この規模が先例になるものではない、④中期財政見直しは、「事務事業の総ざらい」を実施しながら早期に策定する、⑤「事務事業の総ざらい」は、中期的歳入見通しの検証と並行して、リストアップと事業費見積りなどを6月末までに進め、9月末を目途に個々の事務事業について、市民ニーズや成果などの評価項目で必要性や優先順位などを

日本共産党議員団の一般質問予定

一般質問 3月17日(水)~24日(水)

平良木哲也議員 19番目

競艇場外発売場の設置構想について
農業問題について
学校給食について

樋口良子議員 20番目

不妊治療費助成について
住宅改修補助制度について
介護施設の増設について
介護保険料について

上野公悦議員 24番目

地域職業訓練センターの廃止について
森林・林業の再生について

橋爪法一議員 32番目

市政運営の基本について
脳脊髄液減少症対策について
豪雪対策について

一般質問通告者
合計35名

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 224 2010年3月14日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)